

授業科目

相談援助各論I

担当教員名 河野 聖夫	対象学年	3	対象学科	社会
	開講時期	前期	必修・選択	必修
	単位数	2	時間数	30

ディプロマポリシーとの関連性

知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
◎	◎	○	○	

授業の概要

社会福祉士（国家試験）に必要な相談援助の理論と方法について、テキストや事例を通じて、相談援助の実践過程を踏まえながら学習する。この授業では、相談援助の基礎となる対象理解（人間、社会、環境；システム）と援助関係を中心に学んでいく。相談援助に関する実践方法の基礎知識を学ぶ場面となる。

授業の目的

相談援助やソーシャルワークの実践過程を、ジェネリックな視点から理解することによって、実際の実践場面でどのように適用するかを考察する。また、特に社会福祉における相談援助実践の理論と方法を、実践事例による学習を通じて習得していく。社会福祉士における相談援助の基礎理論（専門性やシステム思考）を理解する。

学習目標

- 1 相談援助における人間と環境との交互作用に関する理論を理解する。
- 2 社会福祉専門職における相談援助と援助関係について理解する。
- 3 相談援助の実践過程（基本的な理論・方法）とそれに係る知識と技術について理解する。
- 4 相談援助としての様々な実践内容・方法（相談援助面接など）について、その基礎を学び、知識を獲得する。

授業計画

回数	授業計画・学習の主題	学習方法・学習課題・備考	担当教員
1	オリエンテーション；シラバスを理解する 第1章；相談援助とは について考える	学習の目的・方法およびテーマを把握する。 実践事例を通じ、具体的なイメージをもって取り組む。	河野 聖夫
2	第2章 第1節 ソーシャルワークの構造	ソーシャルワーカーを成り立たせている構成要素を知る。	河野 聖夫
3	第2章 第2節 ソーシャルワークにおけるニーズ	ライフニーズへの視点を理解する。	河野 聖夫
4	第2章 第3節 ソーシャルワークの機能	ソーシャルワークがどのように必要となり何を担うのか（必要性和役割）について理解する。	河野 聖夫
5	第3章 人間と環境の交互作用	システム理論の成り立ちや考え方（人間、環境、相互作用）を理解する。	河野 聖夫
6	第3章 人間と環境の交互作用	システム理論がどのようにソーシャルワーク（理論と実践）に活かされるのかを理解する。	河野 聖夫
7	第4章第1節 援助関係の意義 第2節 援助関係の形成プロセスに影響する要因	ソーシャルワーク関係とは何かを学び、具体的なイメージを持って理解する。 専門的信頼関係を成り立たせていく要因や考え方（理論）を理解する。	河野 聖夫
8	第4章 第3節 援助構造と援助関係	相談援助における援助関係のシステムを理解する。 援助関係の形と必要性について理解する。	河野 聖夫
9	第4章 第4節 援助の質と自己覚知 第5節 援助関係とミクロからマクロ実践領域	相談援助における専門職の姿勢と立ち位置をイメージを持って理解する。 援助関係のさまざまな形（ミクロからマクロまでのシステム）を理解する。	河野 聖夫
10	第12章 相談援助のための面接技術 ラポール	専門的信頼関係（ラポール）を形成する技術を理解する。 相談援助面接におけるバーバル・コミュニケーション技法を理解する。	河野 聖夫
11	第12章 相談援助のための面接技術 面接への影響要因	相談援助面接の展開（流れの組み立て）を理解する。 相談援助面接におけるノンバーバル・コミュニケーション技法を理解する。	河野 聖夫
12	第12章 相談援助のための面接技術	相談援助における原理・原則を理解する。 面接技術に関する基礎知識を獲得する。	河野 聖夫

13	第5章 相談援助の展開過程 インテーク面接	インテーク面接の意味と重要性を理解する。 インテーク面接の方法を理解する。	河野 聖夫
14	第5章 相談援助の展開過程 援助面接	相談援助面接の流れを知る。 面接の展開方法を理解する。	河野 聖夫
15	まとめ	学習内容を振り返り、成果と課題を点検する。	河野 聖夫

使用図書

使用図書	書名	著者名	発行所	発行年	価格	その他
教科書	新・社会福祉士養成講座 7 相談援助の理論と方法I	社会福祉士養成講座編集委員会	中央法規			最新版
参考書	ソーシャル・ケース・ワークとは何か	メアリー・E.リッチモンド著/小松源助訳	中央法規	1991年		
	ケースワークの原則:援助関係を形成する技法,新訳改訂版	バイステック 著、尾崎新 他訳	誠信書房	2006年		
その他の資料						

評価方法

定期試験（80%）＋授業内ワークシート提出（20%）により理解度、達成度を評価し、評点する。

履修上の留意点

予習と復習が必須である。

オフィスアワー・連絡先

第2研究棟 E305研究室 授業後の時間帯の1時間程度（開講時期に限る） および、火曜日 2時限
kouno@nuhw.ac.jp